



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

FAO（国際連合食糧農業機関）日本事務所
2009年11月11日

LOJAPR09/26-No. 148

プレスリリース

FAO 飢餓と闘う全世界ハンガーストライキを呼び掛ける 慢性的飢餓に苦しむ10億人のための断食

2009年11月11日、ローマ - 来週の食料安全保障に関する世界サミットを前に、FAOは11日、慢性的な飢餓と闘うため終日の全世界ハンガーストライキを呼び掛けた。

「この土曜日又は日曜日に、10億人の飢えに苦しむ人との連携を示したい世界中の全ての人々が、ハンガーストライキをすることを我々は提案している」、とジャック・ディウフ FAO 事務局長は記者会見で述べた。

「私個人は土曜日の朝、24時間の断食を始める」と彼は付け加えて述べた。

FAOの統計によれば、10億2,000万の人々が慢性的飢餓状況の中で暮らしている。食料安全保障に関する世界サミット（2009年11月16-18日）は、この傾向を逆転させる即時の行動に合意し、飢餓と栄養不足を終わらせる機運を作り出すために招集された。

政府首脳

FAOの192のメンバーの元首・首相が招集されており、ディウフ事務局長が記者会見で述べたところによれば、2002年の前回のFAOサミットと同じくらいの数の参加があることが期待されている。

「多くの約束がなされたのにもかかわらず、飢餓に対する具体的な行動が欠乏している」、とディウフは言明し、「対策の強化がなければ、更なる世界的食料危機を排除することはできない。」と加えて述べた。

ディウフはまた、ネットワーク上の反飢餓申し立て（リンク：www.onebillionhungry.org）を立ち上げた。このウェブサイトを訪れる人々は、10億人の人々が慢性的な飢餓に苦しむことは受け入れがたいということに同意するのであれば、申し立てに署名することが求められている。この申し立てについては全ての人が **Twitter** 又はその他の社会メディア手段を使って広めるよう推奨されている。

「我々の申し立てに、可能な限り多くの人が『署名』して欲しい」、とディウフは述べた。「クリックの一つ一つが、既に存在する10億に加えて、飢餓を終わらせる根拠という役割を果たす。更に、一つ一つのクリックが、世界の指導者たちに『約束を実行する』ように駆り立てる役割を果たすであろう。」

英文 URL: <http://www.fao.org/news/story/en/item/37232/icode/>